

- ▶ 7月21日(土)、22日(日)に開かれた住民団体との共同開催イベント「第11回 水辺の匠」において、防災や避難行動に関するクイズや洗堰見学ツアーなど、「防災」をテーマとして、来場者に実際、目で見て、体で感じてもらうイベントを実施しました。
- ▶ 平成30年7月豪雨を踏まえ、防災意識や日頃から災害に備える大切さなどについて説明し、身近なこととして感じていただきました。



- 日時：平成30年7月21日(土)・22日(日) 9:30～16:00
- 場所：水のめぐみ館「アクア琵琶」、瀬田川洗堰など(滋賀県大津市)
- イベントへの来場者総数：「第11回水辺の匠」約2,000名

学習する



氾濫シミュレーションモニタで大雨が降ったときの状況を説明



浸水想定区域図の見方などを学習



防災や避難行動をクイズ形式で判りやすく学習

体験する



想定規模を超えた雨など4種類の大雨を体験



洗堰で実際に流れ出る水の量を体験



巡視用車両の乗車体験

感想

- 最近いろいろなところで大雨による災害が起きているので人ごとではないと感じた。
- 氾濫シミュレーションモニタで自分の住んでいるところが大丈夫か見ることができてよかった。
- クイズの中で、家が浸水するかも知れないときの自分が思っていた避難行動は適切じゃないということを知ることができた。
- 平成30年7月豪雨で、洗堰を全開させて流した水の量がどれだけすごい量だったのかわかった。

【水防災意識社会再構築】大規模水害が起こりうること、また、琵琶湖水位の影響を受け浸水が長期に及ぶことを念頭に、自ら行動し、地域の防災力を高め、社会経済被害を最小化するための取り組みを実施し、水害に強い地域を目指します。

【問合せ先】国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所調査課

☎520-2279大津市黒津4-5-1 ☎077-546-0867



来年2019年は
野洲川放水路通水40年！